

スクープ！ スズメバチの天敵発見！

7月30日の自主活動の日に、スズメバチが何者かに捕らえているところを発見しました。調べてみると捕らえたのはシオヤアブで捕らえられたのはコガタスズメバチでした。凶暴で有名なスズメバチでもこのように捕らえられることがあるのですね。虫たちの生活のひとコマでした。



セミの抜け殻調査活動

今年加えた自主活動日(7月30日)は例会の16日が雨で活動できなかったため、毎年7月に行なっているセミの抜け殻調査をしました。アブラゼミが多く、次いでミンミンゼミ、ツクツクボウシも。アブラゼミとミンミンゼミの区別は触角と前足で見分けられます。

抜け殻での見分け方



↑アブラゼミの抜け殻。たいてい葉の裏に付いています。

←ツクツクボウシの抜け殻。アブラゼミより小さく、毎年数は少ない。



↑ミンミンゼミの触角。付け根から三番目の節から先が細くなっています。
→ミンミンゼミの前足。ツメがアブラゼミより開いていません。



↑アブラゼミの触角。付け根から三番目の節が長くなっています。
←アブラゼミの前足。ツメがミンミンより開いています。



いろいろな虫たち

園内にはいろいろな虫たちが暮らしています。初夏は虫たちの季節。池にはトンボのなかまがいました。オオスカシバはクチナシの新芽に卵を産んで行きました。ニラムシは成虫のコニワハンミョウに変身。カメムシのなかまも見つかりました。



↑木の葉を食い荒らしたのはケムシではなく、アオドウガネでした。



↑オオスカシバの卵



↑コニワハンミョウ



↑カメムシのなかま